

## 議 事 録

公開・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一部公開</span> ・非公開	非公開 部 分 理 由	個人情報にかかると部分
	保存期間	30 ( ) ・ 10 ・ 5 ・ 3 ・ 1 ・ 随
	作成日	令和4年6月21日
部長	課長	課長補佐
	係長	係
		記録者所属 企画振興課企画政策係
		職・氏名 主査 土屋 素樹 印

会議等の名称	令和4年度 第3回市民まちづくり会議	開催日時	令和 4年 6月 21日 (火) 午前・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">午後</span> 6時 30分～ 午前・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">午後</span> 8時 00分
		場 所	勤労者会館2階大会議室
主催者(事務局)	企画振興課	司会者	
出席者	有賀剛、五十嵐豊峰、大谷真宙、小夫真、倉寫智彦、坂口永一、篠原博文、田中隆 柘植香織、中澤亥三、花岡裕子、村山弘子 小林福祉課長、掛川子ども家庭支援室長、荒井観光係長、村山主査、早川観光協会事務局長 大塚企画政策係長、上条主査、土屋 (傍聴人あり)		
欠席者	荻原猛、島田直政、鈴木絵美、竹内直弘、水間源、柳橋悠香		

議 題	(グループワーク)  まちづくり班、シティプロモーション班に分かれそれぞれグループワークを実施	(配布資料)  別紙会議資料のとおり
決定事項 (要点を簡条書き)		
次回への検討事項		
次回開催	(日時) 令和4年7月19日 18時30分から	(場所) 本館2階全員協議会室
討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)
各グループワークの内容は別添のとおり		

## 市民まちづくり会議（まちづくり班） 議事録 R4.6.22

質問項目（5月現在）をもとに福祉課長と子ども子育て支援室長が回答とともに施策を説明

### □福祉課長資料【資料1】

東御市の引きこもり支援

社会的に孤立している人やその家族～誰も孤立しない地域を目指す～

### □子ども子育て支援室長資料【資料2】

すべての子どもを大切に守り育てるために～“子どもサポートセンター”が目指すもの～

委員 : 子どもサポートセンターの目標には数値がない。目標には数値が必要ではないか。

子ども家庭支援室長 : 「〇回」や「〇月までに」など数値の目標が設定できるものについては、数値目標を設定したが、数値目標にはならない目標も存在する。

委員 : 経済産業省のセミナーに参加したときに、数値のない目標は意味がないと習った。数値目標を設けるべきだ。

委員 : 「場」というのが大事だ。犬の散歩に行ったときに、歩いている子どもに声をかけて会話することでも「場」は生まれる。そういうことをしていくのがよい。

委員 : 「ひきこもり」は悪いことか。本人が不自由してないのであればいいのではないか。

福祉課長 : 「ひきこもり」は悪いことでない。

委員 : 悪いことではないのに、なぜ行政は「ひきこもり」の解消に取り組むのか。

福祉課長 : 「ひきこもり」自体が悪いことではない。「ひきこもり」という言葉もあまり良くないと思う。実態は「社会的孤立」である。社会的に孤立していることで、例えば親が亡くなった時に遺体を放置してしまうなどのトラブルを引き起こしてしまうことは問題なので、そうならないように、その人がその人らしく生きていける支援を行政はしている。

委員 : 東御市に民生委員は何人いるのか。東御市のひきこもりの人数が40人というのは少ない。民生委員さんがちゃんと見つけていないのではないか。

福祉課長 : 民生委員は各区に1名以上いる。現実として、民生委員さんが把握できたのが40人ということである。県の調査の割合から考えると、市の割合も一緒なので、特別少ないとは考えていない。民生委員さんだけにひきこもりの把握をお願いするのではなく、ケアマネさんからの情報提供やLINEでの相談など、たくさんある把握の手段の1

つであると考えている。

委員 : 民生委員さんは、区長に把握した情報を教えてくれない。民生委員と区長と情報交換をすべき。

福祉課長 : 検討させていただく。

委員 : 東御市は不登校者の割合が多いということがわかった。原因は何なのかということも把握しているのか。

子ども家庭支援室長 : 教育委員会でどういう分析をしているのか聞いてみる。

委員 : 不登校の原因は、小学校が家庭環境によるもの、中学校が情緒混乱によるものとのことだが、情緒混乱も家庭環境が原因の場合が多いと思われる。

委員 : 市にピアサポーター組織はあるか。

福祉課長 : 大人向けの組織はない。

委員 : 今回の話を聞いて、私たちは何をしていくべきかということを考えないといけない。

委員 : 説明の中で、滋野の地域づくり組織も居場所づくりをしているとの話があったが、そういった情報を知ることができない。

1 回どこかで居場所づくりを試してみても継続性がないし、居場所づくりについては一般の人が取り組んでいるようなので、市民まちづくり会議としては、居場所づくりに対しての提言のようなものをまとめるのがよいと思う。

市は一個人で意見を言っても聞いてくれないので、市民まちづくり会議として意見を言うのがよい。

福祉課長 : 個人の方の意見もお聞きしますので、ぜひ何かあれば言ってほしい。

委員 : 「居場所づくりは一般の方が」と言うが、私たちも「一般の方」である。私たちが居場所づくりしてもいい。

委員 : 子ども家庭支援室長は市民まちづくり会議にも詳しいので、今後も一緒に話をしたい。オブザーバー的に関わってほしい。福祉の分野は荷が重い。

委員 : 私たちの任期は3月末であり、1ヶ月に1度の会議では何かをやるのに間に合わない。来月の会議の前に、1度話し合いの場をもちたい。

委員 : ご飯を食べたりしながら、やるのがよい。

委員 : LINE で日程調整をするので、よろしくお願いします。

## 市民まちづくり会議（シティプロモーション班）議事録 R4. 6. 22

5月にシティプロモーション班のメンバーで北御牧八重原地区をモデルにサイクリングコースの検討を実施。今年度導入予定のe-バイク活用方法を踏まえ、コースやイベントなどの検討を行いました。

### ●導入予定のシェアサイクルについて説明

商工観光課 村山主査：

- ・観光情報ステーションにシェアサイクル用のe-バイクを20台導入する予定。
- ・近隣では、上田市、千曲市で導入されている。将来的には広域的に連携できたらと考えている。
- ・導入時期は秋ごろを予定。
- ・ケータイアプリにより料金の支払い、鍵の解錠・施錠、自転車の返却が可能。
- ・現在、上田市や千曲市でアプリによる実証実験で無人化している。  
関東圏でも使用しているアプリをそのまま東御市でも使用できる。  
アプリの運用はソフトバンク、ドコモとあるが、上田市や千曲市との将来的な連携やメンテナンスなどの費用対効果を考えるとドコモのシステムを導入予定。
- ・田中駅（観光情報ステーション）をはじめとして、市内5か所にポートを設置予定。  
候補場所は田中駅、芸術むら公園、湯の丸高原、湯楽里館（ワイン関係）、海野宿
- ・運営や管理は、市観光協会へ委託する。
- ・導入タイプは、女性や子どもでも乗れるタウンユースタイプ7台とロードバイクタイプを13台導入予定。
- ・東御市では、まずシェアサイクルを「観光」を目的とした利用を想定。  
滞在型観光の2次交通手段として利用を目指したい。
- ・モデルコースの設定や市内の見どころの洗い出しが不可欠となってくる。そういった（ビュースポットなど）場所やイベント案などの提案を市民まちづくり会議で発案してほしい。  
あわせて、地域住民やお店の協力や理解が得られる働きかけをお願いしたい。

### ●委員からの意見・提案／補足事項

□シェアサイクルの利用について

- ・乗車したポートに返却ではなく、例えば、ワイナリーまではシェアサイクルを利用し、ワイナリーのポートで返却し、帰りはタクシーなどの利用が出来たらよいと思う。  
→市内であれば他のポートへの返却は可能

- 課題は自転車の回収、利用者から別途回収費用を徴収する必要がある。
- ・市をまたぐ利用は出来るのか（例えば、東御市で利用し、しなの鉄道で移動し上田市で利用するなど）
  - 電車での自転車の運搬は（コンパクトにしない限り）現在不可。
  - 市をまたぐ場合、市内で一旦返却（精算）し、上田市で借り直していただく必要がある。
- ・シェアサイクルの予約は出来るのか。
  - 予約は出来ない。
    - 予約されているとその時間は他の方が利用できず勿体ない。
    - 各ポートの自転車数はアプリ等で確認ができる。

#### □コースについて

- ・トイレの確保は必要不可欠。
- ・飲食店など各地元の協力があればうれしい。（タイヤへの空気入れ、パンクの簡易修理など）
- ・祢津地区などの歴史やブドウ畑横を走るコースの発案。

#### □イベントについて

- ・ビュースポットの発掘、SNSなどを活用したビュースポットの募集やPR。
- ・地元住民を巻き込んだイベントの開催。（市の提案ではなく住民が主体となる）
- ・ずくだせポイントの自転車版。
- ・チェックポイントで自転車を写した写真を集めるラリーイベント。
- ・UCVなどに撮影してもらいサイクリングコース（ビュースポット）のPR。
- ・GoProを装着し撮影した映像をYouTubeなどでPR。

#### ●今後の予定

祢津地区の歴史的建造物やビュースポット（御堂ブドウ畑等）を実際に自転車で巡り調査する。

日時：令和4年7月13日（水）9時～13時頃の予定